

## <<TOPIC>>

Direct admissions（ダイレクト・アドミSSION）という出願方法をご存知でしょうか。ここ数年で注目されてきている試験的導入の段階の出願方法で、特徴は高校生が大学に出願する前に、大学が高校生に「入学しませんか」と事前に通知を出すところにあるようです。日本の転職活動におけるスカウトに似ているかもしれません。

どのような背景でダイレクト・アドミSSIONが導入され始めてきているのか、そもそもダイレクト・アドミSSIONとはどのような仕組みなのかを探るべく、3つの記事・ウェブサイトをピックアップしてみました。

---

## コンテンツ

◆紹介記事◆	1
1) ダイレクト・アドミSSIONとは何か？	1
・記事1) deepL 日本語翻訳	1
・記事1) オリジナル本文（英語）	4
2) ダイレクト・アドミSSIONを導入することで得られるメリットとは	6
・記事2) deepL 日本語翻訳	6
・記事2) オリジナル本文（英語）	7
3) ミネソタ州高等教育局の見解とは？	9
・記事3) deepL 日本語翻訳	9
・記事3) オリジナル本文（英語）	11
◆もっと知りたい場合◆	12

---

## ◆紹介記事◆

### 1) ダイレクト・アドミSSIONとは何か？

ダイレクト・アドミSSIONという新形態の入学許可制度が始まっています。まだ試験的導入の段階のようですが、まずは全体像やサービスを提供している企業・参加している大学について、こちらの記事で見てみましょう。

<https://www.insidehighered.com/admissions/article/2022/10/24/direct-admissions-takes>

・記事1) deepL 日本語翻訳

**TITLE：ダイレクト・アドミSSIONが始動**

Inside Higher Ed / 2022.10.24

“大学に初めて本格的な代替案ができ、これまでのところ、この新しいアプローチは高い評価を受けています。しかし、その成果を予測することは困難です。”

去年は、多くの意味で米国におけるダイレクト・アドミSSIONのキックオフとなりました。コンコース社は、シカゴ地域の10校の大学を対象に、低所得者層（その多くはマイノリティ）の学生の入学と卒業に実績のある大学を対象に、学生の入学選考を行うシステムを構築しました。学生は、成績や勉強したいことなどを書いた自分のプロフィールを作成しますが、実際に大学に申し込むことはありません。大学側が入学を希望する学生に声をかけるのです。去年は650人以上の生徒が、手厚い奨学金で大学への入学を許可されました。しかし、その大学は決して高等教育のエリートではなく、また、このプログラムの意図するところでもありませんでした。

コンコース社では、今年も全米各都市の125校がシステム導入を申し出た、とCEOのジョー・モリソン氏は言う。「そして、さらに多くの大学から導入希望の話があり、その数は急速に増えている」という。

コンコースは、最近EAB社に買収されました。「新規参入を希望する学校から毎日のように問い合わせがきている」とモリソン氏は語ります。

Common Applicationも、ダイレクト・アドミSSIONを試験的に導入しています。今年は14の大学が参加し、11月1日から学生のポートフォリオの共有を開始する予定だといえます。その大学とはAugsburg大学、Austin Peay State大学、Frostburg State大学、George Mason大学、Iona大学、Kean大学、Marymount大学、Montclair State大学、New Jersey City大学、Stockton and Virginia Commonwealth Universities、Mercy and Utica Colleges、the University of

Maryland Eastern Shore です。

これらの大学のほとんどは、従来の入試も継続します。

1995年以来学生の学資援助に携わってきたセージ・スカラーズ社は、ダイレクト・アドミSSIONの分野に進出しようとしています。Hendrix College, Milliken University, Loyola University New Orleans and Washington & Jefferson Collegeなど、26の私立大学と契約が交わされています。

「保護者がこのプロセスに大きく関与してくれるだろうと考え、今週か来週には、約6000通のハードコピーと2種類のメッセージを保護者に送る予定だ」と、セージ社の社長、ジェームズ・B・ジョンストン氏は語っています。

大学側は、プロフィールを「一回きりのイベントではなく、継続的なものとして」見てくれるだろうと期待している。

セージ・プログラムに参加している大学のひとつに、デラウェア州のゴールディ・ビーコム・カレッジがある。

ゴールディ・ビーコム大学のコリーン・ペリー・キース学長は、電子メールで「セージから来た学生から興味を持たれている」と述べた。

さらに、「入学を許可するための学生選別作業を始めると、選べる学生の数が予想以上に多いことに気づきました。もちろん、それは素晴らしいことなのですが、その分、対象となる学生をどのように絞り込むか、一歩後退することになりました。内定を出した学生には、”To Whom It May Concern”のような何千もの内定者の中の一人ではなく、慎重に選ばれた学生であることを知ってもらいたいのです」。

さらに、「これは私たちにとって新しい試みなので、正しいスタートを切りたいと考えており、

11 月の第 1 週目には最初の内定を出し始めるべきです。しかし、学生と大学のためになる賢明な計画を立てるまでは、早々に手を打ちたい。年間授業料を 13,050 ドルに戻し（本校の基金はこの規模の大学としてはかなり大きいので、基金の収益で賄っています）、その上で援助を提供しているので、Sage Scholars にとって興味深い、経済的に実行可能な選択肢になると思われます”と述べています。

### ミネソタ州

今年、ダイレクト・アドミッションへの動きが最も活発な州のひとつが、ミネソタ州です。初年度、ミネソタ州はすべての高校に参加の機会を提供し、40 校が参加しました。公立、私立、部族管理、2 年制、4 年制を含む、50 校以上の大学が参加しているのです。

「現在、参加高校の約半数が生徒に手紙を出しています」とミネソタ州高等教育局の Keith Hovis 氏は言います。「新しいプログラムと同様、この最初のラウンドでは、すべての契約と事務処理を確実に行うために、プロセスを進めています。まだ手紙を出していない高校とは密接に連携しており、今後数週間のうちに手紙を出すことができると考えています。この手紙には、積極的に入学を勧めている大学の個別リストが記載されています。そして、学生は希望する大学の願書に記入することができ、願書提出のための費用が免除されるため、学生にとって経済的な障壁が一つ取り除かれることとなります」と述べています。

今年からダイレクト・アドミッションで志願者を募る予定の the University of Minnesota at Crookston の入学部長アリソン・リースは、まだ高等教育局から候補生が送られてくるのを待っているところだといいます。

しかし彼女は、このプログラムに感激している

とメールで語っています。「ダイレクト・アドミッション」というアイデアが出たとき、多くの大学は『絶対にうまくいかない！』と膝を打ったと思う。でも、私はとても嬉しかったんです。学生が成績表のコピーを入学カウンセラーに渡せば、そのカウンセラーはほとんどいつも、その場でその学生が受かるかどうかを判断することができます。願書は、成績表から得られる情報を再確認し、コミュニケーションチームが学生をターゲティングするために必要な情報得るためのものなのです。」

「ダイレクト・アドミッションは、学生から 2 つの障害を取り除いています。ひとつは、大学に入るのは無理だと自分に言い聞かせている学生、もうひとつは、願書を作成する時間がないという障害です。願書（小論文なし）は 30 分もかかりませんが、学生はそのことを知りません。このシステムによって、『出願にかけられる時間があるのだろうか？』というところから、『あ、受かった』と思えるようになるのです。」

### Augsburg 大学の全入学（オール・イン）

Augsburg 大学は、高等教育局を待っているわけではありません、と戦略的入学管理担当副学長のロバート・J・グールド氏は言います。

「私たちは、このことにとても興奮しています」と彼は言います。「私たちは、ダイレクト・アドミッションに賛成しています。」

ほとんどの大学は、ダイレクト・アドミッションで一部の志願者を入学させることから始め、当面は従来の入試を維持します。しかし、Augsburg 大学は、すべての出願をダイレクト・アドミッションズに移行しています。同大学は Common App のプログラムにも、ミネソタ州のプログラムにも参加しています。しかし、同大学は、プロフィールができている人なら誰でも、審査を受けたい旨を Augsburg 大学に知らせることができるようにしたのだ。

これまでに、639 人の学生がそうしています。

昨年と比較すると、70 パーセントの増加です。

Augsburg の入学許可者は 487 名で、1 年前は 150 名でした。

Gould 氏によると、学生への対応にかかる時間は平均 7 分とのこと。

今年の歩留まりは不明だが、これまでよりは少なくなると想定しているといいます。しかし、彼は、歩留まりについては不確実であっても構わないと考えています。

Augsburg 大学の入学カウンセラーの時間の費

・記事 1) オリジナル本文 (英語)

#### **TITLE : Direct Admissions Takes Off**

Inside Higher Ed: October 24, 2022

Colleges for the first time have a real alternative, and so far the new approach is getting strong reviews. But predicting yield is anyone's guess.

Last year was in many ways the kickoff of direct admissions in the United States. The company Concourse set up a system for students to be considered by 10 colleges in the Chicago area, all colleges with strong track records at admitting and graduating low-income students, many of whom are minority students as well. The students create profiles of themselves with their grades and what they want to study, but the students don't actually apply to a college. The colleges reach out to students they want to admit. More than 650 students were offered spots in college last year, with generous scholarships. The colleges were not among the elites of higher education, and that was not the program's intent.

This year, Concourse has 125 colleges around various cities in the United States making admission offers, said Joe Morrison, the CEO. "And there are many more in the onboarding pipeline, which is growing rapidly," he said.

Concourse was recently purchased by EAB. "We are getting inquiries daily from new institutions who want to join," said Morrison.

The Common Application has been experimenting with direct admissions as well. This year, it will have 14

やり方は、出願書類の審査をすることから、入学した学生と大学について、そして学生がそこで何を成し遂げたいのかについて話すことシフトしています。そうした話し合いこそが、彼らの多くが入試カウンセラーになろうと思った動機だといいます。

「夢のような話だ」とグールド氏は語りました。

www.DeepL.com/Translator (無料版) で翻訳しました。

colleges involved and will start sharing student portfolios with the colleges on Nov. 1. The colleges are: Augsburg, Austin Peay State, Frostburg State, George Mason, Iona, Kean, Marymount, Montclair State, New Jersey City, Stockton and Virginia Commonwealth Universities; Mercy and Utica Colleges; and the University of Maryland Eastern Shore.

Most of those colleges will go on with traditional admissions as well.

Sage Scholars, a company that has worked with students on their financial aid since 1995, is moving into the direct admissions space. Sage has 26 private institutions—including Hendrix College, Milliken University, Loyola University New Orleans and Washington & Jefferson College—signed up so far.

"We are sending, this week or next, about 6,000 hard-copy letters—two different messages—to parents, as we think that the parents are going to be very involved in this process," said James B. Johnston, president of Sage.

He expects colleges to view the profiles "as a continuum, rather than a one-and-done event."

One of the colleges participating in the Sage program is Goldey-Beacom College, in Delaware.

Colleen Perry Keith, the president of Goldey-Beacom, said via email, "We have had interest from students that have come to us from Sage."

She added that “once we began the process of screening students to offer admission, we realized the number of students from which we could choose was much larger than we anticipated. This, of course, is a wonderful problem to have, but has set us back a step as we must determine how to narrow the field of students to whom we will reach out. We want the students to whom we extend offers to know they have been carefully chosen, and are not just one of thousands who have received offers of the ‘To Whom It May Concern’ variety.”

She added, “As this is a new endeavor for us, we want to start on the right foot, and we should begin extending our first offers the first week in November. We want to strike early, but not before we have developed a sensible plan that serves these students and the college well. We rolled our annual tuition back to \$13,050 (our endowment is quite large for a college our size so we fund that from endowment earnings) and offer aid on top of that so we suspect we will be an interesting and financially viable option for Sage Scholars.”

### **Minnesota**

One of the states with the most movement toward direct admissions this year is Minnesota. For the first year, Minnesota offered every high school the chance to participate—40 are participating. Over 50 colleges and universities—public, private and tribally controlled, two year and four year—are opting in.

“Currently, about half of the participating high schools have sent out letters to their students,” said Keith Hovis of the Minnesota Office of Higher Education. “As with any new program, we are working through processes during this first round of implementation and ensuring we have all the contracts and paperwork in place. We are working closely with the remaining high schools who have not sent out letters yet and believe they should be able to send out their letters in the next few weeks. These letters provide each student with a personalized list of colleges that are proactively offering that student admittance. The student is then able to fill out an application for the college of their choice, and we are excited to say that the application fee is waived for the application, removing one more financial barrier for the student.”

Alyson Leas, director of admissions at the University of Minnesota at Crookston, which plans to seek applicants through direct admissions this year, said she’s still waiting for the Office of Higher Education to send her the potential students.

But she said via email that she’s thrilled with the program. “When the idea of direct admission was proposed, I think many colleges had the knee-jerk reaction of ‘It will never work!’ I was ecstatic, though. When you boil it down, how many of us are doing direct admissions by a different name? If a student

gives an admissions counselor a copy of their transcript, that counselor can almost always tell that student right then and there whether or not they will be accepted. All the application is doing is confirming some information that can largely be found on the transcript and getting our communications team some things they’d like to know for targeting.

“Direct admissions is taking away two obstacles from students. One being those students who have already told themselves they could never get into a college and the second obstacle being having time to complete an application. We in the industry know an application (without essay) can take less than 30 minutes, but students don’t know that. It’s a process that’s been hyped up their entire lives. This system allows them to go from ‘Do I have the time to go through an application? Will I even get in?’ to ‘Oh. I’m in.’”

### **All In at Augsburg**

Augsburg University isn’t waiting for the Office of Higher Education, said Robert J. Gould, vice president for strategic enrollment management.

“We are so excited about this,” he said. “We’re all in on direct admissions.”

Most colleges start with just admitting some applicants through direct admission, keeping traditional admissions for now. But Augsburg is shifting all applications to direct admissions. The university will be in the Common App’s program and the state of Minnesota’s. But the college has also made it possible for anyone with a profile that’s ready to let Augsburg know that they would like to be reviewed.

So far, 639 students have done so. Compared to last year, that’s a 70 percent increase.

Augsburg has admitted 487, compared with 150 a year ago.

Gould said the average time to respond to a student has been seven minutes.

He said he’s uncertain about yield this year but assumes it will be less than it has been. But he’s willing to have uncertainty about yield.

Augsburg admissions counselors are shifting their time from reviewing applications to talking to those admitted about the university and what the students hope to accomplish there. Those are the discussions that motivated many of them to become admissions counselors, he said.

“It’s a dream come true,” Gould said

## 2) ダイレクト・アドミSSIONを導入することで得られるメリットとは

ダイレクト・アドミSSION プログラムに参加している大学は、どのような理由で試験運用に参加しているのでしょうか。サービス提供をしている I 社 Common app による記事を確認してみましょう。

<https://www.commonapp.org/blog/common-app-launches-third-round-direct-admissions-pilot-14-colleges-and-universities>

・記事 2) deepL 日本語翻訳

### タイトル：Common App 14 の大学によるダイレクト・アドミSSIONの第3次試験運用を開始

Common app / 2022.11.16

本日、Common App は、大学入試の概念をひっくり返し、大学に関心のある学生に積極的な入学許可を提供することを目的とした、2022-2023 年ダイレクト・アドミSSIONの試験運用開始を発表しました。

Common App の社長兼 CEO である Jenny Rickard は、「ダイレクト・アドミSSIONは、大学進学が機会が豊富であることを学生に知らせることで、大学進学の物語を希少価値から機会へと変えることを目的としています」と述べています。「待つことも、教育機関が特定の特性を求めているかどうかを疑うこともありません。この試みはまだ初期段階ですが、より多くの学生が大学進学を目指せるようになる可能性に期待しています。」

Common App は 2021 年からダイレクト・アドミSSION プログラムを試験的に実施しており、Common App のアカウントを作成し、十分な学業情報を提供した学生、しかしまだすべての公開願を完了していない学生に入学許可を提供しています。最新のパイロット版では、6 つの参加機関の 18,000 人の学生に入学許可を提供し、800 人以上の学生がその申し出を受け入れ

ました。その結果、黒人やアフリカ系アメリカ人、ラテン系の学生、第一世代の学生に最も大きな効果があることが分かりました。

試験的な第3ラウンドでは、Common App と 14 の参加教育機関が約 3 万人の学生にダイレクト・アドミSSIONでオファーを出しました。

2022-2023 年のパイロット参加は以下の通り：

アウグスバーグ大学  
オースティン・ピア州立大学  
フロストバーグ州立大学  
ジョージ・メイソン大学  
アイオナ大学  
キーン大学  
メリーマウント大学  
マーシーカレッジ  
モントクレア州立大学  
ニュージャージーシティ大学  
ストックトン大学  
メリーランド大学イースタンシャロア校  
ユティカ大学  
バージニア・コモンウェルス大学

「モントクレアは、今年も Common App のダイレクト・アドミSSION プログラムと提携できることを嬉しく思っています。この革新的な取り組みを通じて多くの優秀な学生を入学さ

せ、すべての人に手頃な価格で質の高い高等教育を提供するという我々の使命をさらに推進できることを楽しみにしています」と、モンタクラ州立大学学部入学担当ディレクターのJordanna Maziarzは述べています。

「私たちは、公平性と包括性に対して組織的に取り組んでおり、高等教育における不公平な制度の変革に取り組むことが求められています。私たちは、『Augsburg Applies to You』と呼ぶ包括的な新しいアプローチの一環として、Common Appを通じたダイレクト・アドミッションを試験的に行う機会に飛びつきました。入学審査の「門番モデル」から脱却するということは、大学には手が届かないと考えていた学生ともつながりを持てるようになるということです。カウンセラーは、大学選択のプロセスを通じて学生をサポートし、キャンパスに足を踏み

入れる前から帰属意識を高めることができます」と、オグスバーグ大学の戦略的入学管理担当副学長、Robert Gould氏は述べています。

「Common Appのダイレクト・アドミッションプログラムは、高等教育における公平性、多様性、包括性を育成するという我々の使命を推進するための新たなツールをキーン大学に提供してくれます。私たちは、すべての学生、特にマイノリティや第一世代の学生の学問的な希望や夢を支援することを約束します。ダイレクト・アドミッションプログラムを通じて、より多くの学生がキーン大学でより高く登る方法を発見することを期待しています」と、キーン大学の管理担当上級副学長のマイケル・サルバトーレ博士は述べています。

\*は、マイノリティ支援機関であることを示す。

## ・記事2) オリジナル本文 (英語)

### **TITLE: Common App launches third round of direct admissions pilot with 14 colleges and universities**

Common app / November 16, 2022

Today, Common App announced the 2022-2023 launch of its direct admissions pilot, which aims to flip the script on college admissions and offer proactive admission to college-interested students.

“Direct admissions is about changing the narrative of a college education from one of scarcity to one of opportunity, by ensuring students know that college opportunity is an abundant resource — and one that’s available to them,” said Jenny Rickard, President & CEO of Common App. “No waiting, no wondering if the institution is looking for a specific set of characteristics. While we’re still in the early stages of this pilot, we’re excited about the potential of this work to help more students pursue a college education.”

Common App has piloted a direct admissions program since 2021, offering admission to students who created a Common App account and provided enough academic information— but had not yet completed all of their open applications. The latest iteration of the pilot offered admission to 18,000 students at six participating institutions, and over 800 students

accepted the offer. Results showed the impacts of the intervention were strongest for Black or African American, Latinx, and first-generation students.

For the third round of the pilot, Common App and 14 participating institutions reached out to nearly 30,000 students with direct admission offers.

The 2022-2023 pilot class includes:

Augsburg University

Austin Peay State University

Frostburg State University

George Mason University

Iona University

Kean University\*

Marymount University

Mercy College\*

Montclair State University\*

New Jersey City University\*

Stockton University

University of Maryland Eastern Shore\*

Utica University

Virginia Commonwealth University

"Montclair is thrilled to be partnering with Common App's direct admit program again this year. We look forward to admitting many talented students through this innovative initiative and furthering our mission of providing access to affordable, high-quality higher education for all," said Jordanna Maziarz, Director of Undergraduate Admissions at Montclair State University.

"Our institutional commitments to equity and inclusion require that we work to transform inequitable systems in higher education. We jumped at the opportunity to pilot direct admissions through the Common App as part of a comprehensive new approach we call Augsburg Applies to You. Moving

away from a gatekeeper model of admissions means we can connect with students who thought college was out of reach. It gives our counselors more capacity to support students through the college selection process and cultivate a sense of belonging even before they set foot on campus," said Robert Gould, Vice President for Strategic Enrollment Management, Augsburg University.

"The Direct Admissions program from Common App provides Kean University with an additional tool to advance our mission of fostering equity, diversity and inclusion in higher education. We are committed to supporting the academic hopes and dreams of all students, particularly minority and first-generation students, and through the Direct Admissions program, we expect even more students to discover how they can climb higher at Kean," said Michael Salvatore, Ph.D., Senior Vice President for Administration at Kean University.

\*Indicates Minority-Serving Institution status



### 3) ミネソタ州高等教育局の見解とは？

ダイレクト・アドミッションを積極的に取り入れていると言われているミネソタ州では、この制度をどのように生徒や関係者に情報発信しているのでしょうか。

<https://erudera.com/news/vietnam-ranks-fifth-in-number-of-international-students-in-us-according-to-report/>

・記事3) deepL 日本語翻訳

#### タイトル:ダイレクト・アドミッション ミネソタ州

ミネソタ州高等教育局

すべての学生は「カレッジ・マテリアル」である。この基本的な信念は、高等教育局の新しいプログラム「ダイレクト・アドミッション」の原動力となる考え方である。この試験的なプログラムでは、ミネソタ州の特定の高校を卒業する高校3年生に、学業成績と2023年春の卒業予定に基づいて、入学を熱望する複数の提携大学があることを通知します。このプログラムにより、学生は「入学できるか?」という質問に対してすでに「YES!」の答えが出ていることを知り、自信を持って応募することができるようになります。

#### **ダイレクト・アドミッションの仕組みは？**

2022年10月初旬、参加校の高校3年生で卒業見込みの生徒には、高校と高等教育局の連名で、参加するミネソタ州のすべての大学への事前入学許可が記載された個別通信が届きます。その後、学生は入学を希望する各大学の入学願書（無料）に記入する必要があります。ダイレクト・アドミッションの試験的实施の一環として、参加するすべての大学が出願料を免除しています。

学生は、リストにある大学への「ダイレクト・アドミッシ」を果たしたとはいえ、各大学の出願締切日に合わせて願書を提出する必要があります。学校によっては、エッセイや標準テス

トのスコアなど、追加の資料を要求されることもあります。学生は自分で調べ、大学のウェブサイトやキャンパスを訪問し、専攻やプログラムを調べ、授業料や学資援助について検討することが望まれます。

学生の願書は、各大学のウェブサイトに記載されているスケジュールに従って処理されます。願書提出後、正式な入学許可証が届きます。出願状況について質問がある場合は、各大学に直接問い合わせることができます。

2022-23年度のダイレクト・アドミッションプログラムに参加しているミネソタ州のカレッジや大学は、コミュニティ、技術、部族、公立、私立のあらゆる教育機関を含む50校以上あります。参加大学の全リストはこちらをご覧ください。

手元に届いたリストに無い高等教育機関に興味がある場合、学生は興味のある学校の標準的な出願手続きを行うことになります。参加大学から情報を受け取るために、返信やオプティンの必要はありません。

私たちは、すべての学生に、連邦政府と州政府の財政援助プログラムの資格を決定するために使用される「財政援助のための無料申請」を通じて財政援助を申請することを強くお勧めします。連邦政府のペル・グラントとミネソタ州のグラントは、毎年12万人以上の学生に助成金を支給しています。申請した学生の半数は、

ペル・グラントまたはミネソタ州補助金を受給しています。助成金は、選択した大学の費用、家族の人数、収入に基づいて決定されます。

学生と家族のための情報資料とリソースは：

- ・直接入学に関する家族へのよくある質問
- ・学生のダイレクト・アドミッションに関するファクトシート
- ・MyHigherEd.mn.gov - 大学に関する資料と検索ツール

### なぜダイレクト・アドミッションなのか？

現在、ミネソタ州の黒人、先住民、その他の有色人種のコミュニティでは、教育到達度に大きな格差があります。こうした格差は、教育課程全体を通じて生じています。「ダイレクト・アドミッション ミネソタ」は、高校生に大学進学に関する重要な情報を提供し、大学入学手続きに必要な幅広い大学進学知識を不要にすることで、平等格差の縮小に大きな可能性を持っています。

この試験的プログラムは、4つの戦略を用いて、自己選択バイアスを減らし、大学入学における公平性のギャップを減らすことを目的としています：

- ・ 大学進学の文化を促進する
- ・ 生徒、家族、学校と大学を早期に結びつけ、家族が選択肢を検討し、計画を立てる時間を確保する
- ・ 高校から大学への移行を容易にする
- ・ 生徒が進学を選択した場合、修了証、準学士、または学士号を取得できることを示す

詳細については、下記までお問い合わせください。

Meredith Fergus

リサーチ & SLEDS ディレクター

電話番号：651-259-3963

Meredith.Fergus@state.mn.us

Wendy Robinson (ウェンディ・ロビンソン)

プログラム、政策、助成金担当のアシスタント・コミッショナー

電話：651-259-3903

Wendy.Robinson@state.mn.us

「ダイレクト・アドミッション ミネソタ」は、ミネソタ州高等教育局が主導する K-12 と高等教育のパートナーシップ・プロジェクトです。このプログラムは、2021 年の立法会期中にミネソタ州議会による資金提供を受けて実現したものです。

### ダイレクト・アドミッションの歴史的背景

高等教育局は、2021-2022 年度中にミネソタ州のダイレクト・アドミッションを実施することを提案しました。2022 年の秋には、最初のグループの高校 3 年生がレターを見ることになります。初年度は、限られた高校と地区で試験的なプログラムを立ち上げ、参加校に必要な作業、資金要件、技術的な必要性を評価することに重点を置いていました。ミネソタ州高等教育局は当初、2021 年晩夏に開始するようプロジェクトを構成しました。学校や大学のパンデミック計画が優先され、2021 年 10 月下旬に実施が開始されました。

この種のプログラムは、他の州でもうまく機能しています。ダイレクト・アドミッションは、2016 年にアイダホ州が初めて実施しました。このプログラムは、中等教育後の入学者数の減少を逆転させ、州外への移住を減らすことに成功しました。アイダホ州に加え、サウスダコタ州も 2018 年の高校生のクラスから積極的な入学を開始しました（サウスダコタ州教育省、2019 年）。2019 年、イリノイ州は、2020-2021 年度に向けて、イリノイ州の高校卒業生を対象とした 4 年制公立大学に自動的に入学させる試験的プログラムを開発するための法案を可決しました。

アイダホ州の結果は、このプログラムによって、高校卒業後すぐに 2 年制大学と 4 年制大学の両方に出願し入学する生徒の数が、全体的にも州内でも増加することを示しています。Delaney

ら（2019）は、アイダホ州のダイレクト・アドミッションの実施は、機関レベルで11.0%の学部入学者数の統計的に有意な増加と関連し、また機関レベルでの州内入学者数も11.1%から16.3%の間で増加したことを明らかにしてい

ます。同様に、ダイレクト・アドミッションは、フルタイム等価（FTE）入学者数の11.3%の統計的に有意な、州全体の増加と関連していたと報告しています。

### ・記事3）オリジナル本文（英語）

#### **TITLE: Direct Admissions Minnesota** Minnesota Office of Higher Education

Every student is “college material.” This core belief is the driving idea behind the Office of Higher Education's new program called Direct Admissions. This pilot program will notify graduating high school seniors from selected Minnesota high schools that there are multiple partner colleges and universities that are eager to admit them based on their academic records and their projected Spring 2023 graduation date. This program will allow students to apply with confidence, knowing that the "will I get in?" question has already been answered with a "YES!"

#### **How does Direct Admissions work?**

In early October 2022, seniors at participating high schools who are on track to graduate will receive personalized communication, co-signed by their high school and the Office of Higher Education, that lists all participating Minnesota colleges and universities they are proactively admitted to. Students must then complete a FREE admissions application for each of the colleges and universities they are interested in attending. All participating colleges and universities are waiving application fees as part of the Direct Admissions pilot.

Although students have received “direct admission” to the institutions on their list, they still must submit applications to their colleges and universities according to their application deadlines. Some schools may require additional materials, such as essays and standardized test scores. Students are encouraged to conduct their own research, visit the institutions’ website and/or campus, look into majors and programs, and consider tuition costs and financial aid options.

Students’ applications will be processed according to the timeline indicated by each college or university’s website. Students will receive an official acceptance letter after they have submitted their application. Students can contact the institution directly with questions about the status

of application.

There are over 50 Minnesota colleges and universities participating in the 2022-23 Direct Admissions program, including a full range of community, technical, tribal, public and private institutions. Click here for a full list of participating colleges and universities.

If students are interested in postsecondary institutions that are not on their personalized list, they will want to follow the standard application process for the schools they are interested in. There is no requirement to respond or opt-in to receive information from the participating colleges and universities.

We strongly encourage all students to apply for financial aid through the Free Application for Financial Aid which is used to determine eligibility for both federal and state financial aid programs. The federal Pell Grant and the Minnesota State Grant provide grants to more than 120,000 students each year. Half of all students who apply receive a Pell Grant or Minnesota State Grant. Grants are based on the cost of the college chosen, family size, and income.

Information materials and resources for students and families

- Direct Admissions Frequently Asked Questions for Families
- Student Direct Admissions Fact Sheet
- MyHigherEd.mn.gov – College Resources and Search Tool

#### **Why Direct Admissions?**

Currently, significant disparities in educational attainment exist for Minnesota's Black, Indigenous, and other communities of color. These disparities occur throughout the education pathway. Direct Admissions Minnesota has great potential to reduce equity gaps by providing important college-going information to high school students, and eliminating the need for extensive college-going knowledge to navigate the college admissions process.

This pilot program aims to reduce self-selection bias and reduce equity gaps in college enrollment using four strategies:

- Promoting a college-going culture,
- Connecting students, families, and schools with colleges and universities earlier, giving families time to consider their options and plan,
- Easing the transition from high school to college, and
- Showing students that they have access to a certificate, associate degree, or bachelor's degree if they choose to further their education.

For more information, please contact:

Meredith Fergus  
Director of Research and SLEDs  
Tel: 651-259-3963  
Meredith.Fergus@state.mn.us

Wendy Robinson  
Assistant Commissioner for Programs, Policy, and Grants  
Tel: 651-259-3903  
Wendy.Robinson@state.mn.us

Direct Admissions Minnesota is a partnership project between K-12 and higher education, led by the Minnesota Office of Higher Education. The program was made possible with funding by the Minnesota Legislature during the 2021 legislative session.

### **Historical Background on Direct Admissions**

The Office of Higher Education proposed implementing Direct Admissions Minnesota during the 2021-2022 academic year. The first group of

seniors would see letters in fall of 2022. The first year of the project focused on establishing a pilot program with a limited number of high schools and districts to assess the work required for participating schools, funding requirements, and technology needs. The Minnesota Office of Higher Education initially structured the project to begin in late summer 2021. With pandemic planning for schools and colleges taking precedent, implementation began in late October 2021.

This type of program has worked successfully in other states. Direct Admissions was first implemented by Idaho in 2016. The program was successful in reversing declining postsecondary enrollments and reducing out-of-state migration. In addition to Idaho, South Dakota began proactive admissions for the high school class of 2018 (South Dakota Department of Education, 2019). In 2019, Illinois passed legislation to develop a pilot program for the 2020-2021 academic year to automatically admit high-performing Illinois high school graduates to targeted four-year public colleges.

Results for Idaho demonstrate that the program increases the number of students applying for and enrolling at both two-year and four-year colleges immediately after high school, both overall and within the state. Delaney et al. (2019) found that Idaho's implementation of direct admissions was associated with a statistically significant increase in undergraduate enrollment of 11.0% at the institutional level, as well as institutional increases in in-state enrollment between 11.1% to 16.3%. Similarly, direct admissions was associated with a statistically-significant, statewide increase in full-time equivalent (FTE) enrollment of 11.3%.

### **◆もっと知りたい場合◆**

Direct admissions

Idaho x Direct admissions

Augsburg x Direct admissions x The Wall Street Journal

Direct admissions x Without ever applying